

意思決定を支援するための 情報収集と記録化②

－ 揺れるところを見える化する 「トーキングマット」入門－

障害福祉サービスの提供等に係る意思決定支援
ガイドライン研修

1

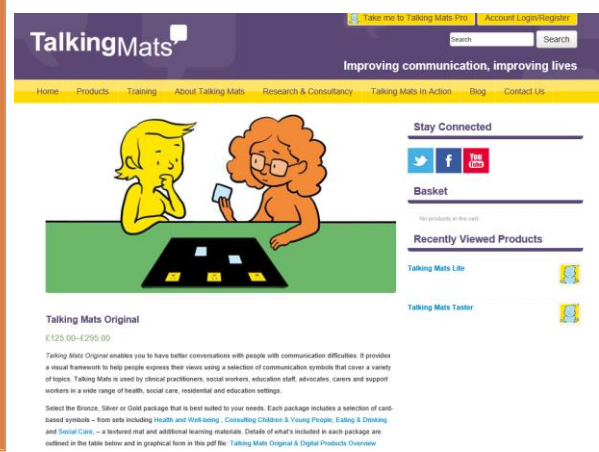
トーキングマットを使ってみよう！

英国（スコットランド）で開発されたコミュニケーション支援ツールの一つ。

アドボケイトやソーシャルワーカー、SLT（言語療法士）等が、認知症高齢者、学習障害・知的障害のある人、その他記憶保持やコミュニケーション等に支障がある方に対する支援で活用されている。

虐待者や虐待内容の特定、最善の利益に基づく決定を行うために、トーキングマットを利用して聞き取りを行った結果が保護裁判所に提出されることもある。

Talking Matsとは？



2

コミュニケーションの目的とは？

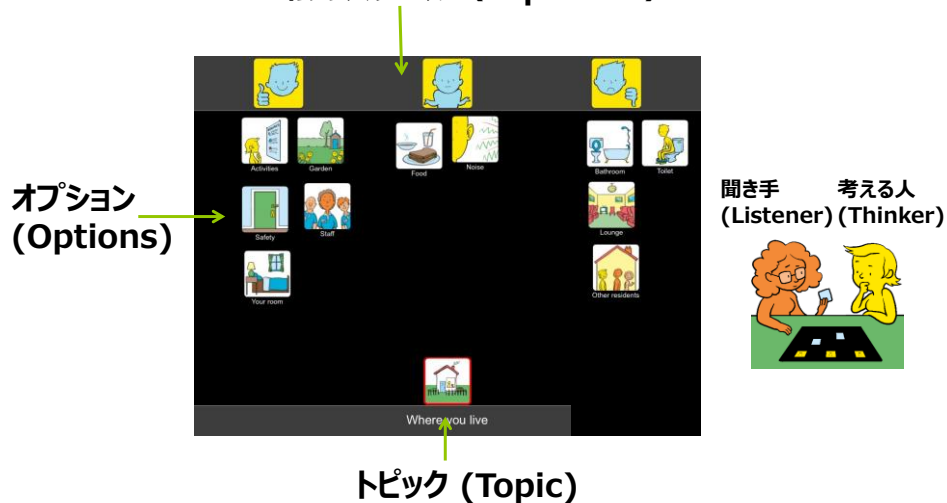
1. 情報を伝達する
2. ニーズや欲求を伝える
3. 関係性を構築し、親しくなる
4. 社会の行動様式に従う

ジャンス・ライト 1988

- 関係性（つながり） / 帰属意識の構築

John Locke 1998

絵のスケール (Top Scale)



トリーキングマツを楽しく効果的に進めるための7つのステップ 慣れるころから上手になる TalkingMats

1	トピックと目的を説明する 	本日のトピック(テーマ)とマツを行う目的を説明しましょう。例)「これからあなたが~についてどう考えているかを確認するためにトリーキングマツを行っていきますね。」
2	絵のスケールを定義する 	絵のスケール(尺度)の意味を定義しましょう。スケールの意味は、あなたが何を発見しようとしているかによって異なります。 例) 好き...普通...嫌い 得意...まあまあ...苦手 やりたい...わからない...やりたくない
3	オプションカードを手渡す 	考える人(本人)の正面にマツを配置しましょう。オプション(選択肢)のカードを1枚ずつ本人に渡し、本人に置いてもらいます。 考える人が自然体でリラックスできるように配慮しましょう。
4	表現を促すための開かれた質問を試みる 	オプションカードを手渡す際にはできるだけ開かれた質問をします。 例)「~についてはどうですか?」「~はどう感じていますか?」 待つことも大切です。身振り手振りや表情なども確認しましょう。
5	空白のカードを活用する 	ひととおりカードを渡した後に、「ほかに置いてみたいカードはありますか?」と聞いてみましょう。希望があれば、何も書かれていない空白カードに、文字や絵を書いて考える人に渡します。
6	内容を確認する(カードの位置も変更可能) 	置かれたカードの内容を聞き手側が理解できているか確認しましょう。ネガティブな選択肢からポジティブな選択肢の順に確認します。カードの位置も変更できることを伝えましょう(本人のこころの微妙な変化が読み取れるかもしれません)。
7	記録し、次の行動計画につなげる 	今回の結果を他の人にも伝えたいかどうか、聞き手から関係者に伝えても良いかどうか等を確認しましょう。次の行動計画につなげたり、特定の選択肢カードをテーマにしたサブマツへ移行することもあります。 セッションへの参加についての感謝の気持ちを伝えましょう。

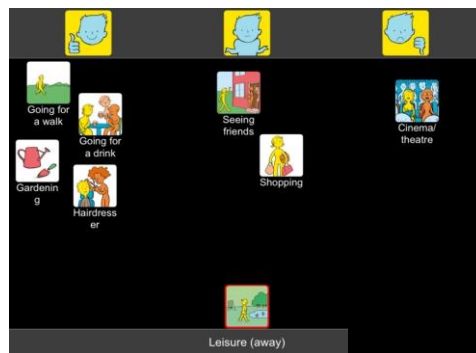
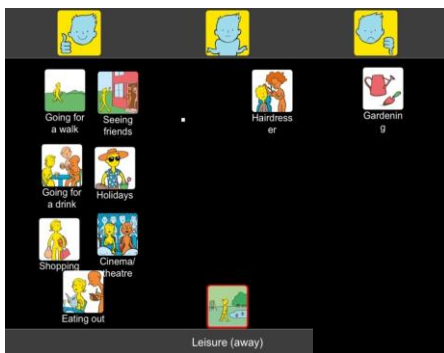
©Talking Mats Ltd. 2020 (原文を踏まえつつ追記: 水島俊彦)

5

TalkingMats
Improving Communication, Improving Lives

好き / 好きではない

している / していない



©Talking Mats Ltd. 2020 & SDM-Japan (翻訳文)

www.talkingmats.com 2020

6

効果の検証：マット未使用／使用の比較

トーキングマットDVD：認知症のあるウィリアムの場合

マット未使用の場合

- 抽象的な話に終始
- 会話中に前の会話内容を忘れてしまう
- 関係ない話（物を盗まれた等）に飛んでしまう
- 話し手の話よりも聞き手の話が長くなっている
- 彼の抱えている問題を発見することができていない

マットを使用した場合

- トピックが明確になった
- 忘れても会話に戻ることが容易になった
- 具体的な情報をより多く引き出すことができた
- 会話の中で、彼が抱えているトラブルを発見（隣人がうるさい）
- 全体的な満足度が上昇

7

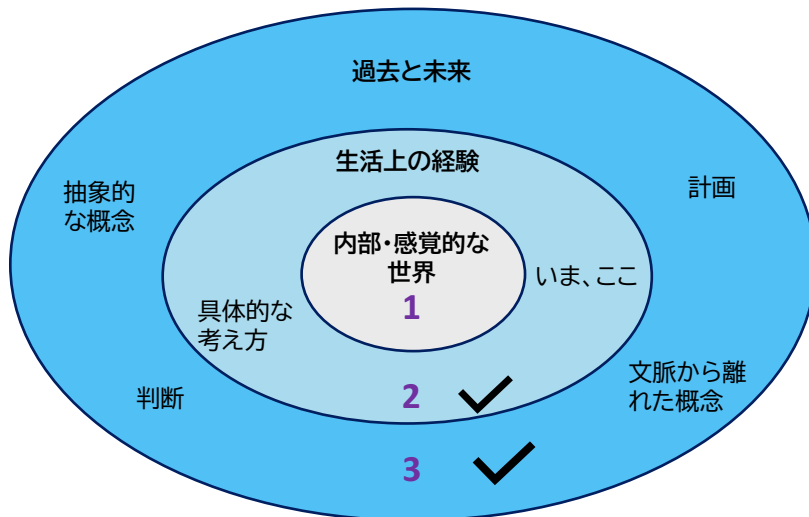
様々なシチュエーションでの利用可能性

例えば・・・

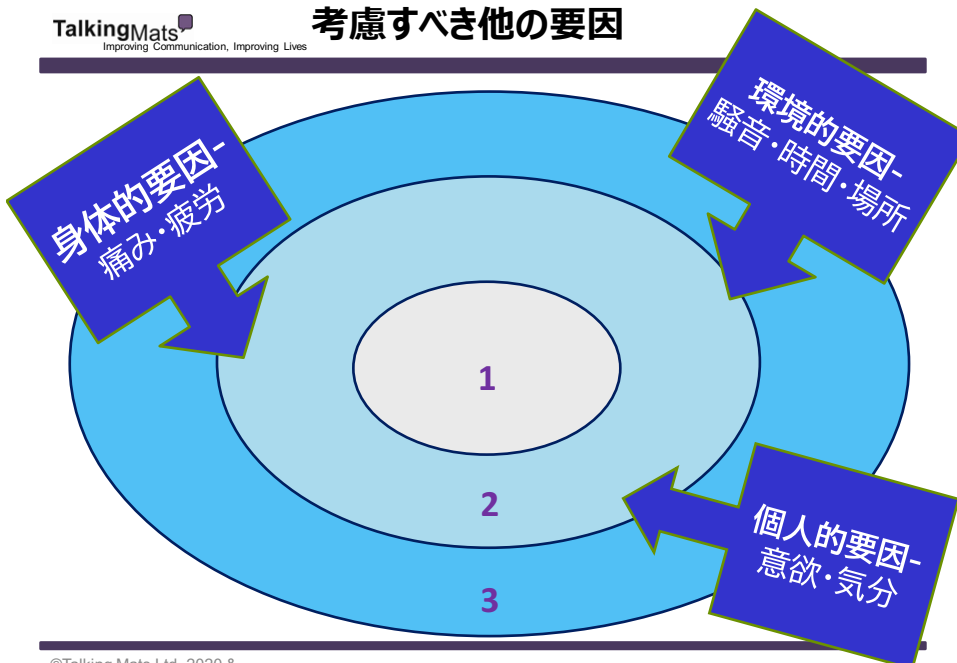
- 歯医者に行くことについて、どのように感じているか
- どのようなコミュニケーション方法が好みなのか
- 現在の学校生活・仕事生活において、どのように感じているのか
- 自宅から施設・病院から自宅への移行について、どのように感じているのか

8

サークルモデル



考慮すべき他の要因



聞き手に求められることは何か？



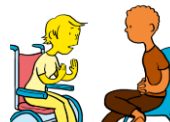
【知識】

サークルモデル –
考える人は、今日はどの
サークルにいるだろう？



【スキル】

トーキングマットの
7大原則を十分に
把握して進められる



【価値観】

本人には意思決定を
行う権利があるという
信条・スタンスを保持
している

より効果を高めるためのコツ

例えば・・・

- 前提の説明（絵のスケールやオプションカードの意味）をきちんとする。必要に応じて何度でも。
- シンプルな言葉遣い
- 主導権は常に話し手にあることを意識する
- 言語外のコミュニケーションにも着目（カードの置き方・後で場所を変更したカード・カードを置くまでの時間などにも着目する）
- 状況に応じて、トーキングマットとその他の支援ツール・ビジュアルエイド（AAC・写真・絵など）を併用する
- マットの使い方を自由に考える

トーキングマットの種類



健康とウェルビーイング
フルセット

研修後に取り扱うことが可能な
アドバンスセット



子どもや青少年との
対話フルセット



食事と飲み物セット



ソーシャル・ケアセット



安全を保つことについて
考えるセット

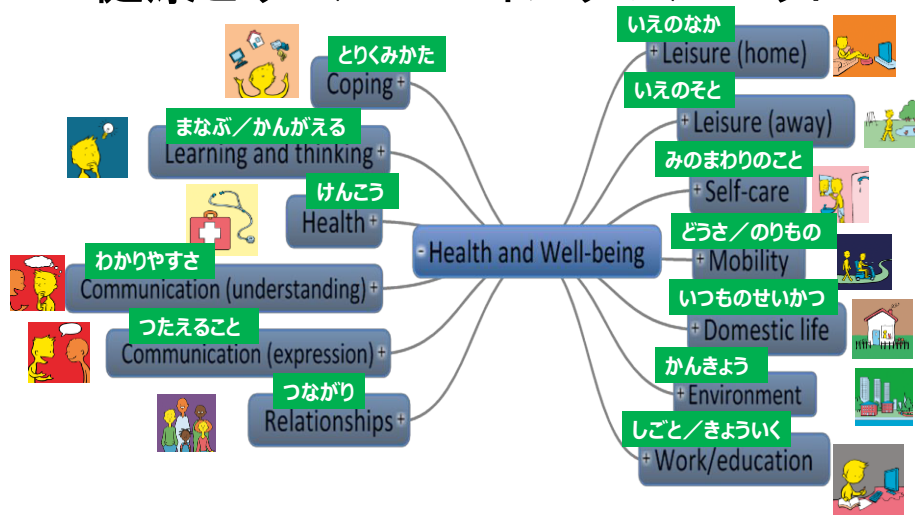


会話セット
-特定の選択肢をより深め
るためのサブカードセット



将来のことについて
考えるセット

健康とウェルビーイングフルセット



さいごに



コミュニケーションにおける最大の問題は、
「理解するために聞いているのではなく、
返事をするために聞いているという点である。」

♪揺れるところを見える化する♪

英国式意思決定支援ツール トーキングマット(日本語版)



- ◆英国スコットランドの大学で研究開発されたコミュニケーション支援ツール
- ◆2018年度に当法人副代表の水島氏が日本人初の認定トレーナーに
- ◆2020年2月から3月に英国Talking Mats Ltd.及びREADYFORの協力を得て、クラウドファンディングを実施 - 成功!
- ◆2020年度より、トーキングマット(日本語版)の国内販売及び基礎研修を開始

日常生活や重要な局面において、本人の嗜好や価値観を把握し、意思決定支援の実践を楽しく行うためのツールとしてぜひご活用ください!



揺れるところを見える化する
TalkingMats[®]
(商標登録出願2019-135592)

